中国自然歩道

宍道湖西岸モデルコース

コース全体地図

コハクチョウ

冬の時期になると出雲平野には多くのコハクチョウやマガンが渡ってくるため、バードウォッチングの絶好の場となっている。場所や日によっては近くで観察することができる。
※観察する際は鳥たちを驚かさないよう、マナーを守って観察してください。

築地松

築地松とは、冬期の北西の季節風に対する防風林として、民家の北西に植えられ、一定の高さに整然と刈り込まれた黒松。広々とした出雲平野の田園の中に、築地松に囲まれた農家が点在する。

湯の川温泉

低い丘陵に囲まれた田園地帯にある日本三美人の湯の一つ。因幡の八上比売（やかみひめ）が発見したと伝えられ、尼子・毛利（あまご・もうり）の合戦の折には、尼子方将兵の傷をいやしたといわれる。泉質は単純泉で多量のほう酸を含み、皮膚病、神経痛などに効能がある。道の駅湯の川には、足湯が整備されている。

1 島根県立青少年の家「サン・レイク」
↓ 0.5km 7分
2 国道431号合流点
↓ 0.5km 8分
3 出雲路自転車道起点
↓ 1.7km 25分
4 宍道湖自然館ゴビウス 宍道湖グリーンパーク
↓ 2.7km 40分
5 灘橋北詰
↓ 1.3km 20分
6 島村橋
↓ 3.9km 60分
7 宍道湖西岸なぎさ公園
↓ 2.5km 40分
8 五右衛門川左岸
↓ 1.1km 20分
9 白鳥水門
↓ 3.3km 50分
10 道の駅湯の川

島根県立青少年の家「サン・レイク」

宍道湖北西岸に位置する小高い丘の上にある。幼児から高齢者までさまざまな年齢層の人たちが使える集団体験学習施設。正面玄関の前を通り抜け、遊歩道を下り国道431号へ向かう。

国道431号合流点

一畑電車の線路をくぐり抜け国道431号に合流する。合流点から約400m西に進んだところで国道から別れる。出雲路自転車道を示す道路標識に従ってすすむ。

出雲路自転車道起点

自転車道として整備された宍道湖西岸、斐伊川左岸を歩む。1kmごとに距離標が設置されている。途中、宍道湖グリーンパークやビオトープ池の側を通る。

宍道湖自然館ゴビウス・宍道湖グリーンパーク

宍道湖・中海や島根の河川などに生息する生きもの約180種類9,000点を大小さまざまな水槽で展示する水族館。隣接する宍道湖グリーンパークでは野鳥観察舎があり窓越しにバードウォッチングが楽しめる。

灘橋北詰

赤く塗られた灘橋。中国自然歩道は写真の右の道を進み、灘橋の下をくぐる。

島村橋

斐伊川に架かる沈下橋。橋から水面をのぞき込むと、川底まで見える。橋を渡った後、再び斐伊川の堤防を歩く。
（水位が高くなっている時には注意が必要）

宍道湖西岸なぎさ公園

最近なくなりつつあった砂浜やヨシの茂みを復活させ、水鳥や魚がすみかにするようになった。春には野大根の花、秋から冬にかけてマガンなどの野鳥を見ることができる。

五右衛門川左岸

五右衛門川左岸の堤防の上に歩道が整備されている。川向こうには出雲縁結び空港が見える。

白鳥水門

穀倉地帯を象徴する米倉をモチーフにデザインされている。

道の駅湯の川

国道9号沿いにあり、観光情報の発信や、斐川町の特産物販売を行っているほか、地元の食材を利用したレストランがある。湯の川温泉の足湯も楽しめる。

一畑口駅

一畑電車の駅。全国的にも珍しい、平地のスイッチバック式の駅である。駅から北に徒歩9分の位置に、酒造の神を祭る松尾神社がある。

湖遊館

山陰最大規模の本格的スケート場。冬季はアイススケート、ホッケーなどを楽しめる。6月から8月にかけては、テニスやバレーボールなど各種一般スポーツ施設として利用できる。また4月から10月の間は、隣接する宍道湖でカヌーやヨットなど水上体験ができる。